

2024 年度 個人研究実績・成果報告書

2025 年 4 月 21 日

所属	商経学部	職名	准教授	氏 名	大賀紀代子
研究課題	19 世紀イングランドにおける「手織工」の実態について				
研究キーワード	産業革命期 手織工	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた		
関連する SDGs 項目	4. 質の高い教育をみんなに	5. ジェンダー平等を実現しよう	8. 働きがいも経済成長も	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	
1. 研究成果の概要 本研究のテーマは、産業革命終期の「手織工」の実態を、イギリス史およびイギリス経済史の視点から明らかにすることであった。 「手織物工場」における付加価値の高い商品の生産を可能にした要因を、分析していく作業を行くなかで、まだ不十分な点・明らかにされていない点が多い生産されている商品の特性や雇用の実態といった側面からの分析を行った。加えて、「手織工」という職が、産業革命期を通じてどのように変化していったのかを、1841 年～1891 年までの 6 回の国勢調査（census enumeration）を調査する試みを行った。 2. 著書・論文・学会発表等 （できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載） 【論文（査読あり）】 2024 年度の研究成果をふまえた現在論文を作成中であり、2025 年度に発表予定である。 【著書・論文（査読なし）】 【学会発表等】 3. 主な経費 19 世紀を対象とした経済思想に関する書籍、経済史関連の書籍、歴史学に関する書籍を購入した。また、研究に必要なパソコン等の購入にも使用した。 4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等） 千葉市開発審査会委員（2016 年 4 月～継続中） (本文は 2 ページ以内にまとめること)					